

平成 2 4 年度

教育委員会事務事業点検・評価報告書

(平成 2 3 年度分)



河北町教育委員会

(平成 2 4 年 9 月)

目 次

河北町教育委員会事務事業の点検・評価について	1
1．制度の概要及び目的	1
2．点検・評価の対象事業	1
3．点検・評価の方法	1
4．学識経験者の知見の活用	2
教育委員会の活動状況	2
1．教育委員会（協議会）の開催	2
2．教育委員会会議以外の活動	3
施策の体系	4
外部評価委員の意見	5
点検・評価対象事業一覧	7
【点検・評価の結果（事務事業点検・評価調書）】	9

河北町教育委員会事務事業の点検・評価について

1. 制度の概要及び目的

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正（平成20年4月1日施行）され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

また、この点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

この法律改正を受け、河北町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに町民に対する説明責任を果たすため、平成21年度から、前年度に行った事務事業について、3名の外部評価委員の方々の意見をいただきながら点検・評価を実施しています。

今年度は、平成23年度に行った事務事業について従来行ってきた点検・評価を踏まえ、新たに事業をシート毎に集約する等新たなかたちで実施し、その結果を報告書としてまとめました。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、平成23年度に実施した教育委員会所管の事業のうち、教育振興計画との関連に視点を置き、事業費の額及び町民への周知の必要性等を考慮して選定した主要な事業を対象に実施しています。

3. 点検・評価の方法

各事業について「必要性」、「効率性」及び「有効性」等の観点から総合評価したうえで、今後の方向性として、「拡充」、「継続」、「縮小」、「見直し」及び「休廃止」に区分して明らかにしました。そしてその内容は、事業ごとに「事務事業点検・評価調書」としてまと

めています。

4. 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った点検・評価についてその客観性を確保するため、3名の学識経験者を外部評価委員として委嘱し、点検・評価の内容について意見をいただきました。

河北町教育事務評価委員

氏名	役職名等
日塔 章彦	西村山地区退職校長会（元中学校校長）
小林 吉則	河北町区長会会長
佐藤 明子	河北町婦人会会長

教育委員会の活動状況

1. 教育委員会（協議会）の開催

(1) 会議

- ・委員会 11回 ・協議会 3回
- ・議案 29件 ・協議 38件

開催日	区分	議案協議件名
4月21日	委員会	議案 河北町指定文化財の指定について外2件
		協議 認定こども園設置に向けた基本方針について外2件
5月23日	委員会	議案 各種委員の委嘱についての専決処分について
		協議 東日本大震災に係る対応について外2件
6月16日	委員会	議案 平成22年度河北町教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施する学識経験者の委嘱について
		協議 教科書採択について外1件
7月21日	委員会	議案 平成23年度使用教科用図書の採択について外1件
		協議 放射線の健康影響等について
8月25日	委員会	議案 河北町立中央図書館利用規程の一部を改正する規程の制定について外4件
		協議 QUアンケート調査について外1件
9月30日	委員会	議案 河北町準要保護児童生徒援助費支給要綱の一部を改正する要綱の制定について外4件
		協議 児童・生徒就学支援状況について外1件

10月20	協議会	協議	ひなカレッジの現状について外1件
11月29	協議会	協議	河北町立中央図書館の指定管理について外5件
12月22	協議会	協議	教育アンケートの実施について外3件
1月24日	委員会	議案	河北町立中学校体育選手等参加補助金交付規程の一部を改正する規程について外2件
		協議	P T A連絡協議会要望書について外7件
2月23日	委員会	議案	平成24年度教育行政の基本方針について外3件
		協議	平成24年度教育関係予算の概要について4件
2月29日	委員会	議案	河北町教育委員会委員の辞職について
3月9日	委員会	議案	河北町公民館整備事業補助金交付規程の一部を改正する規程について外1件
		協議	体育館脇プレハブ倉庫内資料の活用について
3月24日	委員会	議案	平成24年度河北町教育委員会職員の変動承認について外1件
		協議	平成23年度「かほくの教育」総括について

2. 教育委員会会議以外の活動

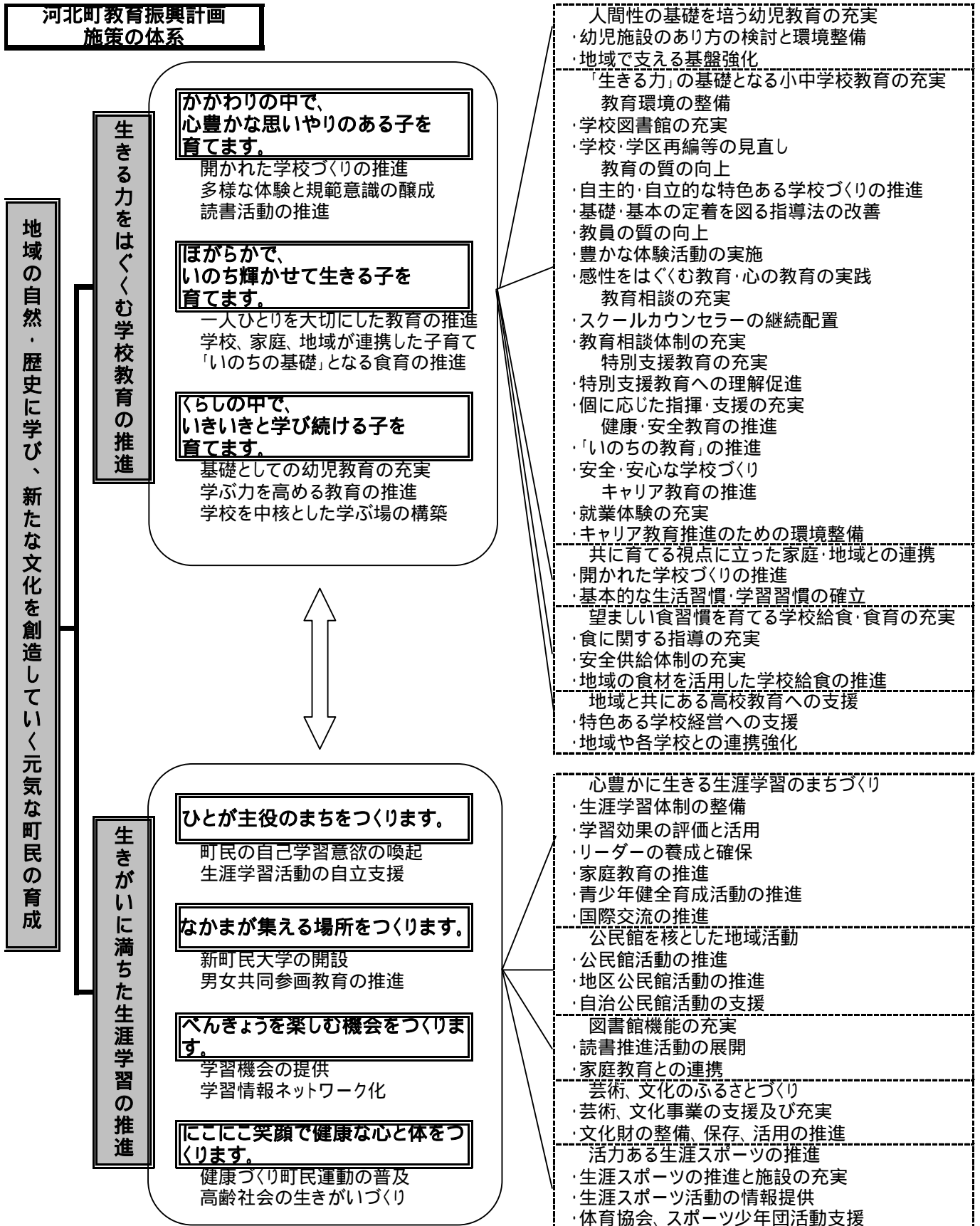
(1) 学校訪問

実施日	実施校	実施日	実施校
5月26日	北谷地小学校	6月29日	谷地中部小学校
6月2日	河北中学校	7月7日	溝延幼稚園
6月17日	西里小学校	7月13日	溝延小学校
6月23日	西里幼稚園	7月15日	谷地西部小学校
6月27日	谷地南部小学校		

(2) その他調査・研修活動・会議等

調査・研修 14件
 会 議 16件

施策の体系



外部評価委員の意見

1．全般的意見

- (1) 河北町は歴史と文化の薫るまち作りを勧めているのですから、町民の皆さんが豊かな心と健康な身体で暮らせるように教育委員会の職員の皆様はなお一層知恵を出し合い各事業を推進してください。
- (2) 具体的な施策が各方面にわたって事細かに打ち出されており、それに対する課題も示されており一層の躍進を期待しております。
- (3) 各事業は教育振興計画に基づき、多岐にわたりきめ細かに計画され実施されている。また、的確な評価と今後の対応策も出されている。今後も継続して事業の充実に努めて欲しい。河北町の子どもたちも明るく伸び伸びと育ており頼もしい限りである。予算の面も含めて、事業の充実に向けて、教育委員会の役割に期待すること大である。

2．学校教育課関係意見

- (1) 学校教育課について、事業評価についてはほとんどの事業が適正に実施されていると思う。今後の対応については継続して取り組んでほしい。これはわが町だけではないが、少子化による問題点、そして、中学生によるいじめ自殺問題、この度の天津市の教育委員会の対応を新聞テレビ等で見るにつけ、この人たちはどこを向いているのだろうと思う。責任者たる人は、つねに前を、そして弱い人達を見ていて守ってほしいと私は考える。私たちの小・中学校の時代は先生は尊敬した世代で、今は友達的な所が多々ありそうです。保護者も昔と違い少子化というところもあるのでは。そこでお願いしたいのは先生方へのフォローも忘れないで欲しい。
- (2) 私も谷地高後援会役員ですが、ある谷地高後援会議にて谷地高存続の為に河北中より受験者を増やして欲しい旨の意見が谷地高PTA役員よりありました。生徒自身が入りたいと思う学校に谷地高としても目指してほしい。
- (3) 幼稚園児の小学校の授業参観など、幼児と小学生との交流をはかりお互いに理解を深め合うこと(教員も)は大切なことである。小中の連携も含めて今後も継続して欲しいものである。
- (4) 人間性の基礎を培う幼児教育の重要性をよく認識し、充実に努めると共に、認定「こども園」の開設に向けて十分に検討してほしいものである。
- (5) 「教育は人なり」と言われるが、その中核を担う教員に「豊かな人間性」と「実践的な指導力」が、今特に求められているのではないだろうか。研修も必要であるが、豊かな人間性は人との関わりの中で育つものである。教員間や子どもたちとの人間的触れ合いを多くする中で、人間性と指導力を身につけていってほしいものである。そのためには、教員も子どもたちもゆとりが欲しいのではないかと思う。
- (6) 今「いじめ」が社会的な問題となっているが、「安全で安心できる学校づくり」が学校教育の基本である。子どもたちが安心して生活し勉強できる学校、保護者も安心して子

どもを託すことのできる学校、教員も安心して教育に専念できる学校、そのような学校づくりに常に取り組んでいって欲しいものである。教育は信頼関係がないと成り立たない。「開かれた学校づくり」「信頼される学校づくり」を今後も進めていってほしいものである。

(7) 学校からの情報提供の充実が、学校と保護者の理解を深め、保護者の 9 割が学校行事や学習公開、お便りを通して学校の様子や学習内容などをよく伝えていると思っているのはとてもすばらしいと思います。只ひとつ危惧されることは、余りにも情報公開することにより地域住民や親の権利が強くなったりした場合、学校運営に支障が生じることはないのだろうかということです。

(8) 教育の一番の基礎となるのは、家庭の教育だと思います。子どもの学力や体力の基礎を作るための生活習慣を習得させ確立させるのが親の務めかだと思います。

食事、健康管理、睡眠、手伝い、勉強、対人間関係の生活態度などは、私たちが小さい頃親だけでなく地域の人たちが、お互いの生活の中に係わり合い色々な事を教えてくれたように思います。今は個人主義が発達し、家庭の中で祖父や祖母でさえ口を挟めない状態のように思います。そして親たちが余りにも忙しく、そうした習慣を身につけさせる時間的ゆとりがないのではないかと。子どもを通して親に訴え、家族、地域、学校が一体となる時かなと思います。

(9) 資料は学力、健康診断、スポーツが取り上げられているが、芸術的なもの、絵画、書道、映画、演劇等は取り上げられていません。確かに学力は大事ですが、それが知識だけに走った場合、成人した時に人間らしく生きるための個性を生かす教育になっているのでしょうか。心が豊かに生まれ、競争社会にない潤いを与えてくれるのがそういうものかなと思います。皆で創造していくものには、思考力、判断力、表現力を育て、仲間とのディスカッションの中でコミュニケーションを深めていくのではないのかなと思います。

3. 生涯学習課関係意見

(1) 生涯学習課による事業内容について、人間は生涯勉強ではとよく言われますが、数多くの事業を受け持っているのが驚きと感謝です。人生 50 年はいつのことでしょうか。今は男女共すごく長寿になりました、その為にも丈夫で健康な人生を全うしたいとは皆さんが思うところでしょうが、その為の手助けを生涯学習課の事業で行っているわけですが 21 事業説明を受けて、事業の実施状況は適切であり、方向性としては継続しなければならぬのであろうと思う。少ない予算の中で数多くの事業を行うには大変でしょうが町民の為、努力して欲しい。

(2) 老後を心身健康で過ごすためには、心を豊かに身体も健康にしておきたい。せっかく河北スポーツクラブが組織化になっているのですから、会員を増やす努力をしてほしい。会員募集チラシを全戸配布して会員の増加を目指すことの他に、会員増加のためにアイ

ディアを出しながら対応する必要があるのではないか。

- (3) 先日の町報にボランティア募集がありました。各学校の特色が出され、又具体的な要望が書かれていることにより、地域の方々もより協力しやすいのではと思いました。地域と共存し、地域に支持される学校になってきているように思います。学校支援ボランティアの協力で、先生方の勤務の負担が少しでも軽減できればと思います。
- (4) 生涯学習課では多くの事業に取り組んでいるが、充実した内容の事業になるよう進めていって欲しいものである。今後、社会の変化、年齢層のアンバランス、地域の変化等により事業の見直しが必要になってくるのではないだろうか。

点検・評価対象事業一覧

番号	事業名	担当課	評価	備考
1	町立幼稚園事業	学校教育課	継続	
2	教育環境の整備	学校教育課	継続	
3	教育の質の向上	学校教育課	継続	
4	教育相談の充実	学校教育課	継続	
5	特別支援教育の充実	学校教育課	継続	
6	健康・安全教育の推進	学校教育課	継続	
7	キャリア教育の推進	学校教育課	継続	
8	共に育てる視点に立った家庭・地域との連携	学校教育課	継続	
9	望ましい食習慣を育てる学校給食・食育の充実	学校教育課	継続	
10	地域と共にある高校教育への支援	学校教育課	継続	
11	農村環境改善施設事業	生涯学習課	継続	
12	社会教育総務事業	生涯学習課	継続	
13	成人式・はたちのつどい事業	生涯学習課	継続	
14	放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	継続	
15	公民館事業	生涯学習課	継続	
16	地区公民館事業	生涯学習課	継続	

17	図書館事業	生涯学習課	継 続	
18	文化財総務事業	生涯学習課	継 続	
19	文化財保護事業	生涯学習課	継 続	
20	サハトベに花管理事業	生涯学習課	継 続	
21	サハトベに花文化事業	生涯学習課	継 続	
22	芸術文化振興事業	生涯学習課	継 続	
23	女性・青少年センター事業	生涯学習課	継 続	
25	交流館遊蔵事業	生涯学習課	継 続	
26	保健体育総務事業	生涯学習課	継 続	
27	体育指導・教室事業	生涯学習課	継 続	
28	各種大会開催事業	生涯学習課	継 続	
29	べに花関係大会開催事業	生涯学習課	継 続	
30	体育施設事業	生涯学習課	継 続	
31	町民プール事業	生涯学習課	継 続	
32	スポーツ振興事業	生涯学習課	継 続	

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	1 町立幼稚園事業
-----	-----------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系 (教育振興計画)	2 人間性の基礎を培う幼児教育の充実 ・ 幼児教育施設のあり方の検討と環境整備 ・ 地域で支える基盤強化 など
------------------	---

予算科目	款	10	教育費
	項	4	幼稚園費
	目	1	幼稚園費外

2、事業の概要

事業目的	人間性の基礎を培う幼児教育
事業内容	(1) 施設及び環境整備 (2) 子育て支援の充実 (3) 幼・保及び小学校との連携 (4) 地域で支える基盤等の強化 など

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	71,489	補正額等	10,285	合計	81,774	決算額	78,970
-------	--------	------	--------	----	--------	-----	--------

4、事業の実施状況

区分	西里	溝延	
3歳児	16	10	(1) 溝延幼稚園・外壁修繕・雪止めアングル撤去・トイレ給水設備修繕、西里幼稚園・ブランコ撤去等。
4歳児	16	11	
5歳児	12	13	
計	44	34	
園長	1	1	(2) 西里幼稚園に特別支援のために臨時教諭2名配置した。幼稚園就園奨励補助(113人)、私立幼稚園子育て支援(11人)を行った。
総括主任	1	2	
主任教諭	1		(3) 各小学校へ幼児の授業参観、5年生の幼児への学校紹介、小学校行事への幼児の参加など両園とも行った。
嘱託教諭	2	2	
臨時職員	2		(4) 幼稚園保護者会との共催などで、夏祭り、運動会、餅つき、子育て研修会など。
給食配膳	1	1	
業務員	1	1	
計	9	7	

5、事業の評価

(1) 各園とも老朽化が進んでいるが、適宜計画的修繕が必要。
(2) 関係機関と連携し、また、保護者の理解も得ながら、適正就学に取り組む。また、継続して幼稚園就園奨励補助、私立幼稚園子育て支援を行う。
(3) 継続した、幼・小連携事業を行っている。
(4) 地域との繋がりを大切にして、連携した幼児教育を行う。

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	今後とも、人間性の基礎を培う幼児教育の充実に継続して取り組む。また、幼児教育の振興等のため幼稚園就園奨励補助、私立幼稚園子育て支援を引き続き行う。さらに平成28年予定開園の認定こども園に向けた町立幼稚園施設のあり方、及び関連する修繕について検討する必要がある。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	2 教育環境の整備
-----	-----------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系	3「生きる力」の基礎となる小中学校教育の充実 ・学校図書館の充実 ・学校・学区編成等の見直し など
教育振興	
計画	

予算科目	款	10	教育費
	項	2・3	小・中学校費
	目		

2、事業の概要

事業目的	教育環境の整備
事業内容	(1) 環境整備の計画的実施 (2) 教育備品等の充実 (3) 学校図書館の充実 (4) 学校・学区編成等見直し など

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	254,594	補正額等	24,027	合計	278,621	決算額	268,784
-------	---------	------	--------	----	---------	-----	---------

4、事業の実施状況

<p>(1) 中部小学校特別教室の普通教室化工事、西部小学校屋内体育館屋根修繕工事など</p> <p>(2) 汎用ソフトを組み入れた、学習用パソコンの導入とインターネットセキュリティーの強化など</p> <p>(3) 学習指導要領改定等に伴う学校図書館の整備、拡充、嘱託図書司書(2人)の継続配置など</p> <p>(4) 通学区の見直しに係る地域の方の意見集約、通学区域の弾力的運用など</p>
--

5、事業の評価

<p>(1) 各施設とも耐震化は達成したが、非構造物の耐震化の取組を行うと共に、継続して老朽化等に対応する計画的修繕を行う必要がある。</p> <p>(2) 学習用パソコンの内容充実と併せ、校務用パソコンの導入を図る必要がある。</p> <p>(3) 継続した図書館の整備と、図書司書の配置とともに、学校図書館の電算化を検討する必要がある。</p> <p>(4) 学校建替え後導入された、県のさんさんプランにより、中部小学校の普通教室が不足している。また、西部小学校では今後複式学級が続く予定であること等を踏まえ、地域の方々の意見を聞きながら学区再編等の見直しを行う必要がある。</p>

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	今後とも、環境整備の計画的実施、教育備品・学校図書館等の充実を継続的に取り組むべきである。適正・適切な教育活動を保障するため、地域の実態や状況の変化に対応した学区再編の推進を図るべきである。

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	3 教育の質の向上
-----	-----------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系 教育振興 計画	3「生きる力」の基礎となる小中学校教育の充実 ・ 特色ある学校づくりの推進 ・ 基礎・基本の定着を図る指導方法の改善 など
--------------------	---

予算科目	款	10	教育費
	項	2・3	小・中学校費
	目		

2、事業の概要

事業目的	教育の質の向上
事業内容	(1) 自主的・自立的な特色ある学校づくりの推進 (2) 教員研修の充実 (3) 感性をはぐくむ教育・心の教育の実践 (4) 現代の課題に対応した教育の実践 など

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	48,517	補正額等	2,284	合計	46,233	決算額	45,358
-------	--------	------	-------	----	--------	-----	--------

4、事業の実施状況

(1) 「特色ある学校づくり」3年1サイクルの3サイクルの1年目、各校とも事業テーマを設定し、地域の歴史・自然のかかわりを大切にして実施。
(2) 教育研究所(6 研究部会、3 専門部会)において、課題設定等主体的な研修の実施や、理科教育センターによる理科教育の質の充実等の研修の実施。
(3) 音楽会や芸術鑑賞を毎年実施。町の歴史文化等に触れるため、遊蔵の郷土資料館等の活用実施。
(4) A L T事業の継続実施と共に、小学5・6年生の外国語教育の円滑な実施のため、外国語活動サポートの人的配置を実施。

5、事業の評価

(1) 「特色ある学校づくり」を推進して、子ども達に付けたい力、ねらいを明確にして、子ども達の変容を踏まえ次の活動につなげることが大切。
(2) 限られた時間の中で、主体的な研修を実施している。新たな教育課題に対応する体制の向上を図る。
(3) 継続して音楽会や芸術鑑賞を実施すると共に、町の施設や人材を活用する。
(4) 国際化社会に対応する人材育成等のための外国語活動サポートの継続実施と共に、英語に係る小中学校の更なる連携を検討する。

6、今後の対応等(委員評価)

方 向 性	拡充 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	確かな学力、豊かな心、健やかな体など「生きる力」育むため、豊かな人間性と専門的な知識・技術などを基盤とする実践的指導力をもった教員の継続した育成を図る。今日の教育課題に対応するため、「特色ある学校づくり」を継続実施すると共に、教育研究所の機能強化とあり方について検討する。

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	4 教育相談の充実
-----	-----------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系	3「生きる力」の基礎となる小中学校教育の充実
教育振興 計 画	・スクールカウンセラーの継続配置
	・教育相談体制の充実 など

予算科目	款	10	教育費
	項	1	教育総務費
	目	2	事務局費

2、事業の概要

事業目的	教育相談の充実
事業内容	(1) スクールカウンセラーの配置 (2) 教育相談活動の充実 (3) 適応指導教室の指導 (4) カウンセリング研修の充実 など

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	2,902	補正額等	0	合計	2,902	決算額	2,788
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1) 小学校(町費 2人)、中学校(県費 2人)にスクールカウンセラー(臨床心理士)を配置した。
(2) 小中学校に教育相談員(県、町費 2人)を配置した。
(3) 適応指導教室(ゆうゆう・指導員 1人)を設置した。
(4) 教育研究所部会で「震災後の子どもたちの心のケア」を臨床心理士から聴講した。

5、事業の評価

(1) スクールカウンセラーが配置継続されており、児童・生徒、保護者への対応や教職員の研修に効果を挙げている。
(2) 教育相談員は、別室、適応教室での生徒の支援や、家庭訪問の実施なども行った。
(3) 適応指導教室では、個に応じた対応等を行い、別室登校や、普通学級復帰へ繋げた。
(4) 町教育研究所等で必要に応じ、適期の開催に努める。

6、今後の対応等(委員評価)

方 向 性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	ストレスが増えた現代社会における、教育相談業務、スクールカウンセラー配置、適応指導教室の設置等は重要で、継続した取組が必要である。学校での児童生徒への対応を基本に、保護者との連携を一層密にする必要がある。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	5 特別支援教育の充実
-----	-------------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系 (教育振興計画)	3「生きる力」の基礎となる小中学校教育の充実 ・特別支援教育への理解促進 ・個に応じた指導・支援の充実 など
------------------	--

予算科目	款	10	教育費
	項	2・3	小・中学校費
	目	1	小・中学校管理費

2、事業の概要

事業目的	特別支援教育の充実
事業内容	(1) 特別支援教育への理解促進 (2) 町の支援体制と校内支援体制の充実 (3) 長期的視野に立った支援体制の整備 (4) 個に応じた指導・支援の充実 など

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	18,824	補正額等	1,129	合計	17,695	決算額	16,785
-------	--------	------	-------	----	--------	-----	--------

4、事業の実施状況

(1)	町教育研究所において、全教職員対象の特別支援教育講座(3回)を開催する等、特別支援教育の理解促進に努めた。
(2)	新たに、児童介護支援事業(緊・1人)、特別支援教育コーディネーターサポート事業(緊・1人)を実施し、支援体制の充実を図った。
(3)	幼稚園、保育所と連携をとりながら、幼児期からの個に応じた支援計画等の作成を促し、小学校以降の教育にも生かせるようその強化を図った。
(4)	学級の中で、個別に支援が必要な児童生徒のニーズに対応するため、学習生活指導補助員(小学7人、中学1人)の継続配置と研修を行った。

5、事業の評価

(1)	具体的ケースを基にした研修や、別角度の視点での講座の設置等、多様な個に応じた特別支援教育の研修を継続して取り組むと共に、更に保護者の理解を深める取組を行う。
(2)	校内支援体制を更に整備する。
(3)	各発達段階に応じた、支援計画のあり方など、幼稚園、保育所と連携を進める。
(4)	実情に応じ、継続して学習生活指導補助員を配置する。

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	障がいのある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し適切な教育支援を推進するため、引き続きその環境整備に努める。更に保護者の理解を深める取組を行う。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	6 健康・安全教育の推進
-----	--------------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系 (教育振興 計画)	3「生きる力」の基礎となる小中学校教育の充実 ・「いのちの教育」の推進 ・安全・安心な学校づくり など
----------------------	---

予算科目	款	10	教育費
	項	2・3	小・中学校費
	目	1	小・中学校管理費

2、事業の概要

事業目的	健康・安全教育の推進
事業内容	(1) 「いのちの教育」の推進 (2) 課題に対応した健康教育の推進 (3) 生涯にわたる基礎としての体育等の充実 (4) 安全・安心な学校づくり など

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	7,658	補正額等	0	合計	7,658	決算額	7,338
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1) 自他のいのちを大切に、また震災後、自分の身を危険から守ることに重きを置いて「いのちの教育」に取り組んだ。
(2) 各校学校保健委員会を定期的(年2回)に開催し、各校における課題を明らかにしながら、校医の先生等からの指導等を得て改善に取り組んだ。
(3) 毎年運動能力調査を行い、課題を明らかにして、その改善を小・中体育連盟等組織的に行った。
(4) 通学路や地域の危険箇所を確認する、安全マップの更新を全校で取り組んだ。

5、事業の評価

(1) 引き続き、自他のいのちを大切にする「いのちの教育」を進める。
(2) 早寝早起き朝ごはんや、歯磨きの励行など、保護者と一緒に健康教育を推進する。
(3) からだの硬さ等は改善傾向にあるが、瞬発力の改善等新たな課題に引き続き取り組む。
(4) 施設の安全面の整備は本より、地域、保護者と共に安全・安心な学校づくりを進める。

6、今後の対応等(委員評価)

方 向 性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	健康・安全教育の推進は学校教育の基本であり、保護者、地域の方と共に進める。施設は耐震化が全校で図られたが、非構造物の耐震化も検討する必要がある。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	7 キャリア教育の推進
-----	-------------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系 〔教育振興〕 計 画	3「生きる力」の基礎となる小中学校教育の充実 ・就業体験の充実 ・キャリア教育推進のための環境整備 など
-----------------------	--

予算科目	款	10	教育費
	項	3	中学校費
	目	2	教育振興費

2、事業の概要

事業目的	キャリア教育の推進
事業内容	(1) 小学校段階からのキャリア教育 (2) 就業体験の充実 (3) キャリア教育のための環境整備

3、予算額・決算額

再掲（単位：千円）

当初予算額	1,000	補正額等	20	合計	980	決算額	957
-------	-------	------	----	----	-----	-----	-----

4、事業の実施状況

- (1) 特色ある学校づくり事業に関連し、地域を知ることや、地域に縁のある方の講話を聞く等、小学校段階でのキャリア教育に関する事業を行った。
- (2) 中学第2学年で3日間、地域の職場で就労体験を行い、生徒一人ひとりの望ましい勤労観・職業観を育てると共に、社会への参画の仕方等を考えさせた。また、第3学年では、本町出身者の方々の職場を訪問し、働く人々の姿に触れ、人としての生き方等を学んだ。
- (3) 就労体験や職場訪問を受け入れられる事業所の掘り出しに努力した。

5、事業の評価

- (1) 家庭における家事の分担等、発達段階に応じて、様々な体験活動を実施ながら、キャリア教育を推進する。
- (2) 中学では、実際に体験することを通じて、働くことの意義や価値を実感として学ぶことができ、また、先生以外の方から指導を受けることで、新鮮な学びを体験できた。
- (3) 関係団体の会議での事業のPRや、広報で呼びかけた。東京方面での受入事業所が減少している。

6、今後の対応等（委員評価）

方 向 性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	早期離職者の増加など、社会へスムーズに移行できない若者の増加は、今日大きな社会問題となっている。主体的に自己の進路を選択・決定できるなど、社会人・職業人として自立していくための発達段階に応じたキャリア教育を引き続き推進する。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	8 共に育てる視点に立った家庭・地域との連携
-----	------------------------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系 教育振興 計 画	4 共に育てる視点に立った家庭・地域との連携 ・開かれた学校づくり ・基本的な生活習慣・学習習慣の確立 など
---------------------	--

予算科目	款	10	教育費
	項	1	教育総務費
	目	2	事務局費外

2、事業の概要

事業目的	共に育てる視点に立った家庭・地域との連携
事業内容	(1) 開かれた学校づくりの推進 (2) 地域の教育力の活用 (3) 基本的な生活習慣・学習習慣の確立 (4) 安全を守るための連携

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	680	補正額等	0	合計	680	決算額	680
-------	-----	------	---	----	-----	-----	-----

4、事業の実施状況

(1) 各学校に学校評議員を委嘱し、保護者・地域住民の意見を学校運営等に反映させた。
(2) 体験学習での畑の先生や、学校支援地域本部事業など、地域の方々の協力を得ると共に、地域の行事への参加などを推進した。
(3) あいさつ運動や、家庭の日の推進、家庭学習(小学全校家庭学習の手引きを発行)の定着など、学校・家庭・地域が連携して進めた。
(4) 地域の方々と共に、登下校時の安全確保の見守り活動を行うとあわせ、地域学校安全指導員(1人) 通学路安全巡視員(緊・1人)の配置や、中学校周辺の街灯(8灯)を整備した。

5、事業の評価

(1) 引き続き学校評議員を委嘱し、学校の課題を共有する等開かれた学校づくりを推進する。
(2) 学校支援地域本部事業の周知を継続し、地域の方々の協力を得る等取組を進める。
(3) 一部取組成果が弱いところがあるが、家庭学習の定着など、学校・家庭・地域が連携して進める。
(4) 地域の方々の協力の下、登下校時の安全確保の見守り活動を行うと共に、地域学校安全指導員、通学路安全巡視員の配置や、安全施設の整備を進める。

6、今後の対応等(委員評価)

方 向 性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	今後も、子どもの社会的認識を培い生きる力や心の教育など多面的な発達を促進していくために「開かれた学校づくり」や、保護者・地域住民の学校経営への理解と参画を得て、信頼される学校づくりを進める必要がある。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	9 望ましい食習慣を育てる学校給食・食育の充実
-----	-------------------------

所管課・係	学校教育課
	学校給食センター

施策体系 〔教育振興〕 計 画	5 望ましい食習慣を育てる学校給食・食育の充実 ・食に関する指導の充実 ・地域の食材を活用した学校給食の推進 等
-----------------------	--

予算科目	款	10	教育費
	項	6	保健体育費
	目	4	給食センター費外

2、事業の概要

事業目的	望ましい食習慣を育てる学校給食・食育の充実
事業内容	(1) 食に関する指導の充実 (2) 学校・家庭・地域の連携 (3) 安全供給体制の充実と施設設備等の更新・補修 (4) 地域の食材を活用した学校給食の推進

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	158,989	補正額等	1,485	合計	160,474	決算額	159,996
-------	---------	------	-------	----	---------	-----	---------

4、事業の実施状況

(1) 各校で食育計画を策定し推進すると共に、栄養教諭等の食に関する指導を実施した。
(2) 学校給食だよりを発行し、給食のメニューの掲載だけでなく、地元食の紹介や、食材のこと等保護者の方へお知らせした。
(3) 食材の放射線量の測定や、調理室の改修、配送コンテナの更新を行った。
(4) 郷土料理や伝統料理を献立メニューに取り入れ、地域の食材を可能な限り取り入れた。

5、事業の評価

(1) 引き続き食育計画の推進と、栄養教諭等の指導を実施する。
(2) 箸の持ち方や毎朝朝食をとること等、学校・家庭等が連携して推進する必要がある。
(3) 食の安全確保のため食材の放射線量の測定や、計画的施設等の更新を実施する必要がある。
(4) 季節や地域の伝統料理を継続してメニューに取り入れながら、地場産品の利用促進のため生産者・流通団体と課題解決の取組を進める。

6、今後の対応等（委員評価）

方 向 性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	児童生徒自身の食生活は学校給食だけでなく、家庭での食事が中心となるなどのため、学校・家庭・地域と連携して児童生徒の望ましい食習慣の形成に努めると共に、施設の計画的な修繕・更新、安全な食材の使用など推進する。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	10 地域と共にある高校教育への支援
-----	--------------------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系	6 地域と共にある高校教育への支援
教育振興 計 画	・ 特色ある学校経営への支援
	・ 地域や各学校との連携強化 等

予算科目	款	10	教育費
	項	1	教育総務費
	目		(振興会会計)

2、事業の概要

事業目的	地域と共にある高校教育への支援
事業内容	(1) 奨学金制度の充実 (2) 教育環境の整備支援 (3) 特色ある学校経営への支援 (4) 地域と学校との連携強化

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,964	補正額等	1,000	合計	2,964	決算額	2,428
-------	-------	------	-------	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1) 奨学金の対象となる成績に幅を持たせる改正を行ったが、所得要件で該当者が無かった。 (2) 土日・休日に学校行事が開催される場合の休日バス運行支援(6日)や、90周年に合わせたソフトボール部への支援を行った。 (3) 町内や近隣の中学校(3年生)に、谷地高等学校の特色や魅力を載せたリーフレットを作成し配布した。 (4) 「谷地高通信」を増し刷り回覧し、町の方から谷地高の現状等をお知らせすると共に、どんがまつりへの生徒の参加支援等を行った。

5、事業の評価

(1) 引き続き奨学金制度を運用し、保護者の学費負担軽減に努める。 (2) 谷地高志願の際ネックとなる公共交通機関の弱さを補完する意味でも、引き続き休日バス運行支援等を行う。 (3) 引き続き谷地高の特色ある学校づくり支援と、特色と魅力を周知するリーフレットの作成・配布を行う。 (4) 幼保・小・中学校との交流を図り、地域行事への参加や、ボランティア活動への支援を引き続き行う。

6、今後の対応等(委員評価)

方 向 性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	本町唯一の高等学校として今後更に発展することを願い、その教育活動の振興に寄与することを目的に、平成25年度からスタートするキャンパス制が、当初の機能を発揮し、谷地高のが選ばれる学校として魅力あるものとなるように支援を行う。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	11 農村環境改善施設事業
-----	---------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系	3 公民館を核とした地域活動
教育振興計画	・ 地区公民館活動の推進

予算科目	款	6	農林水産業費
	項	1	農業費
	目	6	農村環境改善施設費

2、事業の概要

事業目的	地区の中心的施設であるセンターの管理運営及び維持
事業内容	西里、溝延、北谷地の各センターの維持管理費。各センターを計画的に修繕し、地区民に積極的に利用してもらえるようにする。

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	31,904	補正額等	3,544	合計	35,448	決算額	34,729
-------	--------	------	-------	----	--------	-----	--------

4、事業の実施状況

(1) 各センターの運営協議会開催	年 2 回
(2) 利用者数と利用料金	
農村環境改善センター	9,666人 177,579円
溝延研修センター	13,385人 238,190円
北谷地構造改善センター	10,579人 261,259円
(3) 河北町農村環境改善センター(西里地区公民館)	
耐震診断業務委託、駐車場区画線設置工事と遊具修繕、非常灯設備修繕、ポール解体、浄化槽用ブローヤ修繕、男子トイレ修繕、多目的ホール天井修繕、電気時計修繕、避難口灯修繕等を行った。また、除雪機1台、石油ストーブ5台、オープンレンジ1台、集会場カーテンを購入した。	
(4) 河北町溝延研修センター(溝延地区公民館)	
駐車場区画線設置工事、下水道切替の工事とエアコン修繕、非常灯設備修繕等を行った。また、除雪機1台、店舗用掃除機、石油ファンヒーター3台、石油ストーブ1台を購入した。	
(5) 河北町北谷地構造改善センター(北谷地地区公民館)	
駐車場区画線設置工事と遊具修繕、非常灯設備修繕、調理実習室水抜栓修繕、給湯設備修繕等を行った。また、除雪機1台、CDラジカセ1台、店舗用掃除機1台を購入した。	

5、事業の評価

地域の生活環境整備を組織的に推進し、地域連帯感の醸成を図ることができた。また、地域住民の健康の増進、生活文化の振興等に寄与するため施設の適切な管理運営に努めた。
--

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	西里、溝延、北谷地の各センターの維持管理をしながら、計画的に修繕し、地区民に積極的に活用してもらえるようにする。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	12 社会教育総務事業
-----	-------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系	2 心豊かに生きる生涯学習のまちづくり
教育振興 計画	・生涯学習推進体制の整備
	・リーダーの養成と確保
	・家庭教育の推進
	・青少年健全育成活動の推進

予算科目	款	10	教育費
	項	5	社会教育費
	目	1	社会教育総務費

2、事業の概要

事業目的	地域住民が積極的に生涯教育活動に関り地域の教育力を向上
事業内容	社会教育委員、社会教育推進員、青少年育成推進員、紅花いっぱい運動事業、元泉地域づくり推進事業、視聴覚教育、学校支援本部事業、家庭教育事業、家庭の日事業

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	4,682	補正額等	174	合計	4,856	決算額	4,713
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

<p>(1) 社会教育委員 - 委員会を年2回開催し、委員より生涯学習事業全般について意見を求めた。</p> <p>(2) 社会教育推進員 - 生涯学習事業全般について、協力していただいた。青少年育成推進員との合同で会議を年2回、研修会を年1回開催した。</p> <p>(3) 青少年育成推進員 - 各種少年週末事業の運営、青少年健全育成のための夜間巡回活動などの生涯学習事業に協力した。</p> <p>(4) 少年教育・青年教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第23回爽やかサイクリング 平成23年9月23日(金) 27名参加 ・第9回ドッジボール大会 平成23年12月11日(日) 4チーム参加 ・子どものつどい 平成24年3月10日(土) 23名参加 ・みどりの少年団(団員数38人、谷地西部小学校3年生～6年生) ・家庭の日イベント 親子工作 平成23年5月15日(日) 川えびつり 平成23年10月16日(日) <p>毎月第3日曜日は家庭の日という啓発のため、広報によるお知らせや看板を町内9施設に設置し、周知を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・べに花の種プレゼント 平成23年4月10日(日) ・第31回最上紅花切花展 平成23年7月10日(日) <p>(5) 視聴覚教育 視聴覚教材巡回貸出事業(ビデオテープ・DVDの貸出)や巡回教材貸出事業(ビデオテープ・DVDの貸出)、「映写ボランティア」の派遣事業等の事業を行った。</p> <p>(6) 学校支援地域本部事業 各学校より要望調査を実施した後、チラシによりボランティアを募集し、学校が望むボランティアの確保と調整を行い、学校を支援した。</p> <p>(7) 家庭教育 町内5校の小学校で、家庭教育推進事業を実施した。</p>		
---	--	--

5、事業の評価

イベントをする際には、他のイベントと日程が重ならないよう、連携しながら事業の周知に努め、参加者の確保を図ることが必要。

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	特に子ども育成連絡協議会主催事業に関しては参加者数が減少傾向にあることから、地区役員の協力を得ながら参加者数の増加を図っていきたい。また他事業についても、より多くの皆さんが参加できるよう、開催日や内容を考慮していく。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	13 成人式・はたちのつどい事業
-----	------------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計 画	2 心豊かに生きる生涯学習のまちづくり ・ 青少年健全育成活動の推進
---------------------	---------------------------------------

予算科 目	款	10	教育費
	項	5	社会教育費
	目	1	社会教育総務費

2、事業の概要

事業目的	地域の若者力の集結
事業内容	成人式及びはたちのつどいの実施

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	795	補正額等	2	合計	793	決算額	781
-------	-----	------	---	----	-----	-----	-----

4、事業の実施状況

(1) 成人式・はたちのつどい 平成24年1月8日(日) サハトベに花で式典を、町民体育館でつどいを開催した。今年度は平成18年度に河北中学校を卒業した人等が対象で、235人中193人が式典に参加した。式典では、昨年度に引き続き本格的なジャズ演奏が披露された。 はたちのつどいは実行委員が企画し、新成人に装飾を施した楽しい集いの場を提供した。
(2) 成人式・はたちのつどい写真展 平成24年2月4日(土)・5日(日) サハトベに花交流室で開催した。

5、事業の評価

青年教育の中心となっている河北町青年団の団員数減少や勤務形態の多様化により活動できる人数が減っている。諸団体と連携しながら、実行委員の拡大を図る必要がある。
--

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	今後とも、より多くの成人の皆さんが参加できるよう、はたちのつどいの内容を実行委員会で検討していく。また、実行委員の確保に努める。				

事務事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	14 放課後子ども教室推進事業
-----	-----------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計画	2 心豊かに生きる生涯学習のまちづくり ・ 青少年健全育成活動の推進
--------------------	---------------------------------------

予算科 目	款	10	教育費
	項	5	社会教育費
	目	1	社会教育総務費

2、事業の概要

事業目的	(1) 子どもの安全な遊び場の確保 (2) 体験学習を通しての仲間づくり
事業内容	夏休みを除く6月から9月までの毎週水曜日に子どもの遊び場の確保を目的に実施している。

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	597	補正額等	60	合計	657	決算額	526
-------	-----	------	----	----	-----	-----	-----

4、事業の実施状況

(1) 子どもの居場所づくり事業 平成16年度から国の補助事業「放課後子どもプラン」が実施され、運営委員会委員となった各地区の青少年育成町民会議役員や各学校の協力を得て、水曜日の放課後に6種類の講座を含め事業を実施。町内各学区毎6会場で実施し、1日平均約65人が参加した。

5、事業の評価

地域の方々が、コーディネーター及び見守り役になっていただいているので、地域の方との交流も見られ、子どもたちをサポートしていただいている。
--

6、今後の対応等（委員評価）

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	安全・安心な子どもの活動拠点を提供し、魅力のある講座を開催することで、より多くの児童の皆さんが参加できるよう、学校の協力を得ながら開催日や講座内容を検討していく。				

事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	15 公民館事業
-----	----------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系	3 公民館を核とした地域活動
教育振興 計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館活動の推進 ・ 自治公民館活動の支援

予算科 目	款	10	教育費
	項	5	社会教育費
	目	2	公民館費

2、事業の概要

事業目的	公民館活動や文化活動の活性化と文化活動への積極的参加の促進
事業内容	中央公民館運営、各分館活動支援、婦人文化教室支援、かほく町民ひなカレッジ支援

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	3,257	補正額等	26	合計	3,231	決算額	3,187
-------	-------	------	----	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1) 青少年講座	<p>少年講座について、地域の方を講師に招き、2つの講座を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ べに花かほく体験隊 平成23年10月23日(日) 町児童動物園を会場に開催、町内小学生39人が参加し、放鳥舎壁面に壁画を作成した。講師として河北美術クラブの方々にご指導いただき、青少年育成推進員に子どもたちのサポート役として参加していただいた。 ・ べに花かほく体験隊 平成24年3月24日(土) コミュニティセンターを会場にビーズ手芸の講座を開催。町内小学生を対象に、お花のリースチャーム作りにチャレンジした。
(2) 子どもいけばな教室	<p>7月～2月の第4土曜日に女性・青少年センターにおいて、龍生派(華道)の指導者によるいけばな教室が開催された。全部で8回行われ、参加した町内小学生の作品が、10月の町文化祭に展示し好評だった。</p>
(3) 町民大学「かほく町民大学ひなカレッジ」	<p>実行委員会主催による、1つの大講座と6つの小講座及び閉講式を実施した。実行委員は16人で、計17回の会議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大講座 鎌田實講演会 平成23年9月7日(水) 645人 ・ 小講座の受講生数 地域学23人、紅花学19人、シネマ学17人、こころ学17人、磨き学(女性)28人、磨き学(男性)13人 ・ 閉講式 渡辺祥子朗読 & DELTAコンサート 平成24年2月25日(土) 201人
(4) 生涯学習講師派遣事業	<p>現在57の団体・サークルが派遣事業対象団体として登録されている。学習事業の一部補助として1件5,000円の補助を行った。平成23年度は9の団体に支援を行った。</p>
(5) 公民館整備補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改造 1件

5、事業の評価

<p>イベントをする際には、他のイベントと日程が重ならないよう、連携しながら事業の周知に努め、参加者の確保を図ることが必要。ひなカレッジについては、様々な場で活躍している実行委員が、広報や入場券販売でも活発な活動をしたが、若い実行委員の確保が課題である。小講座では谷地地区以外の参加が少なかった。</p>
--

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	<p>拡充 継続 縮小 見直し 休廃止</p>
今後の対応	<p>講座の内容及び地区的片寄りによって、参加者に大きなばらつきがある。今後とも、より多くの皆さんが参加できるよう、開催日や講座内容を考慮していく。</p>

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	16 地区公民館事業
-----	------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系	3 公民館を核とした地域活動 ・地区公民館活動の推進
教育振興	
計画	

予算科目	款	10	教育費
	項	5	社会教育費
	目	2	公民館費

2、事業の概要

事業目的	各地区公民館活動による、地域力の高まりと文化活動への積極的参加の促進
事業内容	各地区公民館の活動と運営支援

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,494	補正額等	0	合計	1,494	決算額	1,405
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1) 文化教養講座	<ul style="list-style-type: none"> ・文化教室（西里地区） 8学級 137名在籍 ・大昭学級（溝延地区） 106名在籍 ・文芸学級（北谷地地区）9学級 133名在籍 ・婦人会各学級（溝延地区）6学級 111名在籍 ・あじさい学級（溝延地区） 22名在籍
(2) 学習講座	<ul style="list-style-type: none"> ・田植え・稲刈り・収穫感謝祭・しめ飾り作り（西里地区） 西里小学校6年生対象 ・小正月行事（溝延地区） 溝延小学校1年生対象 ・ミニ門松づくり及び小正月行事（北谷地地区） 北谷地小学校5・6年生及び1・2年生対象
(3) その他の講座等（全地区）	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所づくり事業 年12回 ・地区公開講座 年1回 ・地区文化祭 年1回 ・新春を祝う会 年1回 ・やすらぎのまちづくり事業における交流会 年1回 ・青少年育成町民会議事業における思いやりフォーラム 年1回 ・輪投げ大会・ペタンク大会・ゲートボール大会等 各年1回

5、事業の評価

<p>各地区公民館において、地域の特性に応じた講座・文化学級・文化祭・スポーツ大会などを開催し、地区の各種団体と共催による事業の展開を行った。地区公民館毎に担当職員を決め、地区公民館と連携を取りながら業務を遂行した。</p> <p>今後ともより多くの人に参加できるよう、参加者の意見も参考にし内容の充実に向けて創意工夫に努める必要がある。</p>

6、今後の対応等（委員評価）

方向性	<p>拡充 継続 縮小 見直し 休廃止</p>
今後の対応	<p>各年齢層を対象にした事業においては、女性や高齢者は参加も多く成果をあげているが、内容の充実強化を図り、広がりのある参加しやすいものにしていく必要がある。特に、青壮年層が参加する事業の実施がこれからの課題である。</p>

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	17 図書館事業
-----	----------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計画	4 図書館機構の充実
	<ul style="list-style-type: none"> ・読書推進活動の展開 ・家庭教育との連携

予算科 目	款	10	教育費
	項	5	社会教育費
	目	3	図書館費

2、事業の概要

事業目的	図書館の運営とサービスの充実
事業内容	(1) 指定管理者制度の導入による管理運営を行う (2) 備品（蔵書）購入を計画的実施

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	22,905	補正額等	10,800	合計	33,705	決算額	33,704
-------	--------	------	--------	----	--------	-----	--------

4、事業の実施状況

(1) 例年の蔵書購入に加え、住民生活に光をそそぐ交付金を活用し、児童書、絵本、大活字本等の購入や書架の整備を図った。 (2) NPO 法人ひまわりネットワークに管理を委託し、図書館運営やブックスタート事業、おはなし会、移動図書館等を実施した。 (3) 図書館後援会は寄贈運動を推進し、大活字本、大型絵本、DVDを寄贈した。
--

5、事業の評価

(1) より多くの多様な蔵書を配置できるようになり、図書館機能が向上した。 (2) 平成 19 年度より指定管理者制度を導入し、開館時間の延長や図書館ホームページの更新などサービスの拡充を行っている。

6、今後の対応等（委員評価）

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	蔵書の数と内容の向上に努める。本の選定に関して、町民の関心に触れるものを選んでいく。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	18 文化財総務事業
-----	------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系	5 芸術、文化のふるさとづくり
教育振興計画	・文化財の整備、保存、活用の推進

予算科目	款	10	教育費
	項	5	社会教育費
	目	4	文化財費

2、事業の概要

事業目的	地域の文化財の保護と資料整備
事業内容	(1) 河北町文化財保護審議会 (2) 河北町の歴史講座の開催

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,316	補正額等	0	合計	1,316	決算額	1,311
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1) 文化財保護審議会 会議：4回 研修：天童市
・文化財保護審議会の意見を受け、町指定有形文化財1件を指定した。 (絵馬七福神宝船図 種別：絵画 白山堂白山神社)
・毎月の広報かほく15日号に、町内の名所・旧跡の解説を掲載した。
(2) 河北町の歴史講座(全3回)
・第1回：安部権内家の建造物について
・第2回：安部権内家古文書から - 豪農・安部権内家 -
・第3回：安部権内家古文書から - 安部権内家と寺社 -

5、事業の評価

(1) 文化財保護審議会の意見を尊重し文化財保護に努めた。
(2) 河北町の歴史講座は、毎年参加の人も多く好評である。

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	町指定文化財候補について調査を継続し、文化財保護を推進する。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	19 文化財保護事業
-----	------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系	5 芸術、文化のふるさとづくり
教育振興計画	・文化財の整備、保存、活用の推進

予算科目	款	10	教育費
	項	5	社会教育費
	目	4	文化財費

2、事業の概要

事業目的	文化財愛護精神の啓発
事業内容	(1) 史跡説明板設置 (2) 緊急雇用創出事業

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	2,456	補正額等	695	合計	3,151	決算額	3,124
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1) 無形文化財の保護	<ul style="list-style-type: none"> 映像収録...しめ飾りづくり 民俗芸能伝承活動の助成...谷地大黒舞
(2) 緊急雇用創出事業	<ul style="list-style-type: none"> ヒメギフチョウ生息地保全...谷地西部地区内の生息環境保全のため下刈りを実施した。 地域の文化財公開...河北町の名所・旧跡を紹介したパンフレットを作成し、一般に配布した。
(3) 指定文化財保護事業補助	<ul style="list-style-type: none"> 県指定天然記念物「蟠竜のマツ」樹勢回復事業の支援を行った。(県 1/2 補助、町 1/4 補助)
(4) 史跡説明板の設置	<ul style="list-style-type: none"> 溝延の渡船場 舞台・吉野・荒小屋の渡船場(舞台、吉野地区に標柱を設置し、荒小屋地区に看板を設置した。)

5、事業の評価

(1) 無形文化財の収録映像は、交流館遊蔵、サハトベに花設置のタッチパネル PC で公開している。
(2) ヒメギフチョウ生息地保全を3年間実施したことにより、今後の生息増殖を見守る。
(3) 県指定天然記念物「蟠竜のマツ」は、以前から県に支援を要望しており、今回、樹木の環境整備を図ることにより樹勢が回復した。
(4) 史跡説明板の設置により、地元での河川や文化財に対する愛護精神の向上が期待される。

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	廃止
今後の対応	映像公開、パンフレット配布、看板の設置などを通じて、文化財愛護精神の啓発と保護に努める。プレハブ内民俗資料等の整理を行う。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	20 サハトベに花管理事業
-----	---------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計画	5 芸術、文化のふるさとづくり ・芸術、文化事業の支援及び充実
--------------------	------------------------------------

予算科 目	款	10	教育費
	項	5	社会教育費
	目	5	サハトベに花費

2、事業の概要

事業目的	サハトベに花の維持管理
事業内容	指定管理者により施設の管理運営を適切に実施し、維持修繕については計画的に実施する。

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	71,189	補正額等	3,036	合計	74,225	決算額	75,237
-------	--------	------	-------	----	--------	-----	--------

4、事業の実施状況

(1) 河北町総合交流センター サハトベに花	荷受場床改修、駐車場区画線設置、構内電話設備改修、事務室空調機更新、給湯設備、交流室ワイヤレスシステム更新等の工事と消防設備、屋内消火栓設備、電気時計設備等の修繕を行った。また、テーブルを8台購入した。年間利用件数1,483件、年間利用人数61,006人。
------------------------	--

5、事業の評価

損傷・劣化箇所が地区18年経過しているため多くなっている。

6、今後の対応等（委員評価）

方 向 性	拡充 継続 縮小 見直し 休廃止
今後の対応	(1) 修繕必要度に即して、修繕・工事を計画的に実施していく。 (2) 指定管理者制度に基づき施設の管理運営をしていく。 (3) 全天周劇場の利活用について検討をしていく。

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	21 サハトベに花文化事業
-----	---------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計画	5 芸術、文化のふるさとづくり ・芸術、文化事業の支援及び充実
--------------------	------------------------------------

予算科 目	款	10	教育費
	項	5	社会教育費
	目	5	サハトベに花費

2、事業の概要

事業目的	地域住民の芸術文化の意識向上
事業内容	(1) SUPERアニソンワールド2011 in かほく (2) 宝くじまちの音楽会「南こうせつ with ウー・ファン」

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	5,723	補正額等	0	合計	5,723	決算額	5,605
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1)	SUPERアニソンワールド2011 in かほく 平成23年11月20日(日)開催745人
(2)	宝くじまちの音楽会「南こうせつ with ウー・ファン」平成24年2月11日(土)開催775人

5、事業の評価

事業は、集客も必要であるが、文化的内容を考慮する必要がある。開催日については、町内各文化団体の発表の機会を妨げないよう配慮する必要がある。

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充 継続 縮小 見直し 廃止
今後の対応	自主事業については、町民が要求している身近に見ることができない公演を実施していく。

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	22 芸術文化振興事業
-----	-------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系	5 芸術、文化のふるさとづくり
教育振興計画	・ 芸術、文化事業の支援及び充実

予算科目	款	10	教育費
	項	5	社会教育費
	目	5	サハトベに花費

2、事業の概要

事業目的	地域住民の芸術文化活動の活性化
事業内容	河北町芸術文化協会、県美展河北巡回展、べに花の里俳句大会等各種芸術文化団体への活動補助、サハトベに花展示室での展示事業の実施

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	2,212	補正額等	0	合計	2,212	決算額	2,118
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1) サハトベに花展示事業
町内の各芸術文化団体の協力を得ながら、下記展示事業を行った。
・ 自主事業：河北美術クラブ会員展（阿部隆雄ボタニカルアート展）平成23年5月13日～6月12日
・ 共催事業：河北町書道連盟会員展 平成23年7月13日～7月19日（昨年度延期分）
・ 共催事業：河北美術クラブ展（展示室廊下） 平成23年7月15日～7月19日
・ 自主事業：花ノ木遺跡展 平成23年7月30日～8月28日
・ 後援事業：いい時間作りませんか会（いい時間作りませんか展） 平成23年9月9日～9月20日
・ 自主事業：鹿野英峰遺墨展 平成23年10月9日～10月24日
・ 総合文化祭：総合作品展 平成23年10月31日～11月3日
・ 総合文化祭：河北郷土史研究会展示 平成23年11月6日～11月27日
・ 共催事業：高橋泥舟遺墨 平成23年12月3日～12月25日
・ 自主事業：河北美術クラブ会員展（真木恒夫絵画展） 平成24年1月14日～2月12日
・ 自主事業：河北町写真クラブ展 平成24年2月15日～3月6日
・ 共催事業：河北町書道連盟会員展 平成24年3月10日～3月20日
・ 後援事業：第3回婦人文化教室絵画学級展 平成24年3月24日～3月30日
(2) 文化祭の開催 10月2日（日）から11月27日（日）の間に河北町芸術文化協会に加盟する17団体の発表会が行われた。また、11月3日（木）に記念式典及び舞台発表会、11月1日（火）から11月3日（木）まで総合作品展を行った。2月28日（火）には、文化祭の反省会を及び研修会を実施した。
(3) 各種芸術文化団体への補助 河北町芸術文化協会、県美展河北巡回展実行委員会、べに花の里俳句大会実行委員会、河北町小中学校芸術鑑賞教室実行委員会を支援した。

5、事業の評価

総合文化祭は各団体の協力で盛大に行われた。また総合作品展では、最終日の時間を1時間繰り上げ午後5時までとしましたが、影響なく多くの方々に鑑賞していただいた。
--

6、今後の対応等（委員評価）

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	総合作品展において、展示作品の見守りを当番制で行ったが、展示作品が紛失するということがあったため見守り以外にも展示場所や展示方法を考え直さなければならない。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	23 女性・青少年センター事業
-----	-----------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計 画	2 心豊かに生きる生涯学習のまちづくり
	・リーダーの養成と確保
	・青少年健全育成活動の推進

予算科 目	款	10	教育費
	項	5	社会教育費
	目	6	女性・青少年センター費

2、事業の概要

事業目的	青年層の活動の活性化
事業内容	女性・青少年センターの管理、運営

3、予算額・決算額

（単位：千円）

当初予算額	3,654	補正額等	0	合計	3,654	決算額	3,561
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1) 河北町女性・青少年センター	青年団、ピアコの活動拠点として施設を開放している。屋根・外壁塗装工事と女子トイレ修繕等を行った。年間利用件数 1 2 6 件、年間利用人数 1 , 9 8 9 人。
-------------------	--

5、事業の評価

書道教室の利用が定期的であり、延べ利用人数が増加している。

6、今後の対応等（委員評価）

方 向 性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	劣化箇所があった場合は、適切に修繕していく。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	25 交流館遊蔵事業
-----	------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計 画	5 芸術、文化のふるさとづくり ・ 芸術、文化事業の充実
	6 活力ある生涯スポーツの推進 ・ 生涯スポーツの推進と施設の充実

予算科目	款	10	教育費
	項	5	社会教育費
	目	7	交流館遊蔵費

2、事業の概要

事業目的	(1) まちなか交流人口の拡大 (2) 青少年層への伝統文化の紹介 (3) 生涯学習活動及び生涯スポーツの活性化
事業内容	(1) 施設の維持管理 (2) 郷土資料館の展示、体験学習の実施

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	5,020	補正額等	0	合計	5,020	決算額	4,852
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1) 利用人数 ・ 屋内運動場 7,583人(817件) ・ 郷土資料館 1,813人
(2) 施設管理 ・ 河北町シルバー人材センター委託
(3) 施設修繕 ・ 監視カメラHDD交換
(4) 常設展示 ・ 農耕資料展示室...囲炉裏端と民具・農具の展示、タッチパネルPCの設置 ・ 匠の道具展示室...河北職業訓練協会より資料借用 ・ 来館者、小学生向け展示説明...河北町郷土資料館協力員
(5) 企画展 ・ 「なつかしのかほく写真展」
(6) 工作教室、匠の道具体験会(協力：河北職業訓練協会)
(7) 屋内運動場大会 ・ 河北ミニサッカー大会in遊蔵

5、事業の評価

(1) 郷土資料館に伝統芸能や匠の道具の映像を紹介するタッチパネルPCを設置し、情報を発信している。
(2) 各小学校の社会科学習の見学先として郷土資料館が活用されている。
(3) 屋内運動場は、ゲートボール、フットサル、輪投げ、テニス、野球等で昼夜使用され盛況である。

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	郷土資料館の展示替えやタッチパネルPCの内容更新に努める。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	26 保健体育総務事業
-----	-------------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系 教育振興 計 画	6 活力ある生涯スポーツの推進
	・生涯スポーツの推進
	・生涯スポーツ活動の情報提供

予算科 目	款	10	教育費
	項	6	保健体育費
	目	1	保健体育総務費

2、事業の概要

事業目的	町民総スポーツの推進
事業内容	地域における一層のスポーツの振興と一町民一スポーツの推進

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,865	補正額等	10	合計	1,855	決算額	1,815
-------	-------	------	----	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

<p>(1) スポーツ振興審議会を年3回開催し、体育・スポーツを体系的、計画的に推進するための調査・審議を行った。</p> <p>(2) 町体育協会に補助金を交付し、体育・スポーツの更なる振興を図った。また、体育協会主催による、本町スポーツの普及と向上に功績のあった方、並びに競技成績が優秀である個人又は団体を、河北町区対抗卓球大会の開会式の折に表彰した。</p> <p>(3) 山形県スポーツ振興21世紀協会負担金で、モンテディオ山形関係のサッカー事業の充実を図った。</p> <p>(4) 河北スポーツクラブは、町からの総合型地域スポーツクラブ補助金を活用し、子どもから高齢者まで誰もがそれぞれのニーズに応じて気軽にスポーツに親しめる環境を整え、町民の自主運営による総合的なスポーツクラブである。その趣旨に基づき、平成23年度は、創設後の3年目であり、会員募集チラシを全戸配布し、会員の増加と円滑かつ継続的な事業の展開に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング教&軽スポーツ教室 通年 37回 11人 ・ピラティス教室 通年 37回 40人 ・ストレッチ・ヨガ教室 通年 37回 51人 ・エンジョイ吹き矢 通年 18回 8人 ・たのしいスポーツ教室(幼児の部) 通年 19回 16人 ・たのしいスポーツ教室(小学生の部) 通年 19回 39人 ・卓球教室 11月~1月 18人 ・朝のストレッチ・ヨガ教室 通年 35回 22人 <p>(5) スポーツ行事等の年間予定を掲載した河北体育スポーツだよりの発行(全戸配布)、河北町区対抗総合スポーツ交流大会等の結果について、町の広報や生涯学習課のホームページ、更には、河北町民体育館玄関壁面掲示によるスポーツ情報提供の整備に努めた。</p>
--

5、事業の評価

<p>河北スポーツクラブの育成に積極的に取り組み、地域における一層のスポーツ振興を図るとともに、クラブ活動を通して、健康で明るく活力に満ちたスポーツコミュニティづくりの推進に努めた。</p>

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	<p>地域のスポーツサービスは、無料で行政から提供されるものという従来の意識は徐々に減ってきてはいるものの、総合型地域スポーツクラブの意義が未だ十分理解されていない現状にある。このようなことから、更なる会員の増加を図らなければ、会費収入等によるクラブの安定的な財源を確保することが困難になってくるものと予想される。今後も町の健康福祉課と事業調整を図りながら、重複しないような教室開催を実施していかなければならない。</p>				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	27 体育指導・教室事業
-----	--------------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系	6 活力ある生涯スポーツの推進 ・生涯スポーツの推進
教育振興	
計画	

予算科 目	款	10	教育費
	項	6	保健体育費
	目	1	保健体育総務費

2、事業の概要

事業目的	町体育指導委員の社会体育事業への参画と青少年スポーツの振興
事業内容	町体育指導委員の河北スポーツクラブの育成、指導、助言及び青少年スポーツの育成

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	530	補正額等	2	合計	532	決算額	532
-------	-----	------	---	----	-----	-----	-----

4、事業の実施状況

- (1) 町体育指導委員は、区対抗総合スポーツ交流大会等の社会体育事業への参画及び総合型地域スポーツクラブの育成、指導、助言に努めた。
- (2) スポーツ少年団の育成事業を行う経費に対して、補助金を交付するとともに、団員募集チラシの発行、本部員会、代議員会、合同結団式、体カテスト会、指導者協議会、母集団研修会、認定員養成講習会などを開催し、青少年スポーツの振興と青少年の心身の健全な育成を図った。

5、事業の評価

- (1) 町体育指導委員の社会体育事業への積極的な参画、河北スポーツクラブへの育成、指導等によりスムーズな事業展開が図られた。
- (2) スポーツ少年団の育成事業については、少子化の影響で団員数が減少傾向にあるが、各单位団ともに指導者、母集団が一体となって、青少年の健全育成に寄与した。

6、今後の対応等（委員評価）

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	少子化の影響により、スポーツ少年団の団員数が年々減少傾向にあり廃団や統合する単位団も出てきている。今後同じ種目を統合して結成していくよう指導する必要がある。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	28 各種大会開催事業	所管課・係	生涯学習課 社会体育係
施策体系 教育振興 計画	6 活力ある生涯スポーツの推進 ・生涯スポーツの推進	予算科	款 10 教育費 項 6 保健体育費 目 1 保健体育総務費

2、事業の概要

事業目的	区対抗関係大会を通しての、地域住民の世代間交流と長距離選手の育成強化
事業内容	各種大会を通して、町民の融和と親睦を深め、健康増進と明るい町づくりの推進

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	2,026	補正額等	55	合計	1,971	決算額	1,969
-------	-------	------	----	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

<p>(1) 第 27 回べに花杯近隣市町ゲートボール大会を 20 チームの参加で開催し、愛好者が大会を通して、チーム相互の親睦と技術の向上に努めた。 開催期日 平成 23 年 7 月 13 日(水) 開催場所 荒町東公園</p> <p>(2) 第 3 回河北ミニサッカー大会 in 遊蔵 (U-10)を 8 チーム(河北町 2、山形市 4、東根市 2)の参加で開催した。 開催期日 平成 24 年 2 月 5 日(日) 開催場所 河北町交流館遊蔵屋内運動場</p> <p>(3) 第 31 回河北町区対抗卓球大会を開催し、地域住民の世代間交流を図り、町民の融和と親睦を深め、健康増進と明るい町づくりに寄与した。 開催期日 平成 24 年 2 月 26 日(日) 参加状況 15 区 25 チーム人(前年度 18 区 31 チーム人)</p> <p>(4) 第 16 回河北町区対抗総合スポーツ交流大会を開催し、地域住民の世代間交流を図り、町民の融和と親睦を深め、健康増進と明るい町づくりの推進に努めた。 開催期日・平成 23 年 7 月 10 日(日) 輪投げ大会 159 チーム(前年度 154 チーム) ・平成 23 年 10 月 2 日(日) ターゲットパードゴルフ大会 83 チーム(前年度 79 チーム) ・平成 23 年 11 月 27 日(日) ダーツ大会 156 チーム(前年度 163 チーム) ・平成 24 年 1 月 15 日(日)シャフルボード大会 110 チーム(前年度 120 チーム) 開催場所 河北町民体育館 参加チーム数 25 チーム(前年度 31 チーム)</p> <p>(5) 平成 23 年 4 月 27 日から 29 日開催の第 57 回山形県縦断駅伝競走大会が東日本大震災の影響により中止となった。また、第 28 回山形県女子駅伝競走大会で寒河江西村山チームが 11 チーム中 5 位の成績であった。 女子駅伝開催期日 平成 23 年 11 月 20 日(日) 開催場所 山形市周辺</p> <p>(6) 第 58 回西村山地区駅伝競走大会に本町より 2 チーム参加し、10 チーム中、A チームが 3 位、B チームが 10 位の成績であった。 開催期日 平成 23 年 11 月 13 日(日) 開催場所 西村山管内一円</p> <p>(7) 平成 23 年 8 月 7 日(日)開催の第 14 回山形県ジュニア駅伝競走大会に本町より男女各 1 チーム参加し、35 チーム中、男子 19 位、女子 13 位の成績であった。 【山形県ジュニア駅伝競走大会負担金 39,000 円】 開催期日 平成 23 年 8 月 7 日(日) 開催場所 蔵王坊平クロスカントリーコース</p>

5、事業の評価

<p>(1) 一町民一スポーツの普及を図るため、河北町区対抗総合スポーツ交流大会を通して、生涯スポーツの人口拡大を図った。</p> <p>(2) 河北町区対抗総合スポーツ交流大会の参加チームの増加等で、町民の健康づくりへの意識高まってきていると認識している。</p> <p>(3) 河北町区対抗総合スポーツ交流大会も各地区に定着してきており、体育指導委員や参加チームからの相互審判制により、運営側と参加者側が一体となり事業を展開している。</p>

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	廃止
今後の対応	<p>(1) 河北町区対抗総合スポーツ交流大会の実行委員会で、種目もマンネリ化しており、一種目程度を新たな種目に変えていく必要があると指摘されている。新たな種目の備品購入を財政計画に盛り込んでいかなければならない。</p> <p>(2) 山形県ジュニア駅伝競走大会の河北町選手団の選手選考について、大会が児童生徒の夏休み期間のため、毎年ベストメンバーで編成できない事情がある。</p>				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	29 べに花関係大会開催事業
-----	----------------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系 教育振興 計 画	6 活力ある生涯スポーツの推進 ・生涯スポーツの推進
---------------------	-------------------------------

予算科 目	款	10	教育費
	項	6	保健体育費
	目	1	保健体育総務費

2、事業の概要

事業目的	べに花文化の意識の高揚
事業内容	べに花関係大会を通して、スポーツの振興と町の活性化

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	2,140	補正額等	0	合計	2,140	決算額	2,140
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

<p>(1) 県内外から主催者が認めた優秀チームを招聘し、町内の小中高校生の卓球のレベルアップを図ることを目的に、第 24 回べに花杯卓球大会を開催した。高校女子については、春の全国高校選抜大会、鳴子合宿等日程が重複したため、参加申し込みがなかった。 開催期日 平成 24 年 3 月 23 日(金)から 25 日(日) 開催場所 河北町民体育館 参加チーム ・小学男子 15 チーム ・小学女子 19 チーム ・中学男子 20 チーム ・中学女子 22 チーム</p> <p>(2) 第 30 回べに花マラソン大会を開催し、町の紅花文化の意識を高めるとともに、スポーツの振興と町民の融和を図り、町の活性化に努めた。また、記念大会として参加者全員に名入りの記念タオルを贈呈し、過去最高の 771 人の参加人数となった。 開催期日 平成 23 年 7 月 3 日(日) 開催場所 河北町民体育館周辺 参加者数 771 人(前年度 750 人)</p>
--

5、事業の評価

(1) べに花にこだわった冠関係大会を充実させたことにより、河北町の活性化並びに県内外にこれまで以上に河北町を発信できたと評価している。
--

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	廃止
今後の対応	(1) べに花マラソン大会は、べに花祭りの一環として開催している大会である。近年の参加者の増加に伴う受け入れ体制を検討すべきである。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	30 体育施設事業
-----	-----------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系	6 活力ある生涯スポーツの推進 ・生涯スポーツの推進と施設の充実
教育振興	
計画	

予算科	目	款	10	教育費
		項	6	保健体育費
		目	2	体育施設費

2、事業の概要

事業目的	体育施設の適正な維持管理
事業内容	指定管理者制度を導入し、(株)河北町べに花の里公社に管理及び運営を委託し、河北町体育施設の適正な維持管理を確保しつつ、住民サービスの向上に努める。

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	35,115	補正額等	10,676	合計	45,791	決算額	45,545
-------	--------	------	--------	----	--------	-----	--------

4、事業の実施状況

<p>(1) 河北町民体育館の屋根修繕、照明器具及び反響吸収板振れ止めワイヤー点検修繕、温水ボイラー循環ポンプ取替修繕を実施し、利用者の安全確保と利用促進に努めた。</p> <p>(2) 河北町民体育館の変圧器絶縁油中PCB分析を実施し、利用者の安全確保に努めた。</p> <p>(3) 河北町民体育館駐車場の今後の工事等の実施を検討するため測量設計を委託した。</p> <p>(4) (株)河北町べに花の里振興公社に、河北町体育施設の管理及び運営を委託し、体育施設の適切な管理を確保しつつ、住民サービスの向上に努めた。</p> <p>河北町民体育館 利用件数 1,052 件(前年度 870 件) 利用者数 49,511 人(前年度 44,992 人)</p> <p>サン・スポーツランド河北野球場 利用件数 103 件(前年度 118 件)利用者数 6,705 人(前年度 5,176 人)</p> <p>サン・スポーツランド河北町民テニスコート 利用件数 482 件(前年度 493 件)</p> <p>利用者数 7,817 人(前年度 6,568 人)</p> <p>河北町野球場 利用件数 75 件(前年度 84 件) 利用者数 1,509 人(前年度 1,511 人)</p> <p>遊戯屋内運動場 利用者数 7,583 人(前年度 7,822 人)</p> <p>(5) 河北町民体育館屋上広場防水工事を実施し、利用者の安全確保と利用促進に努めた。</p> <p>(6) 河北町民体育館の非常用バッテリー更新工事、サン・スポーツランド河北キューピクルVCB更新工事及び錆止工事、河北町民体育館音響設備更新工事、河北町民体育館非常用照明器具等取替工事、河北町民体育館事務室非常放送設備更新工事を実施し、利用者の安全確保と利用促進に努めた。</p> <p>(7) 河北町民体育館に業務用掃除機 1 台、サン・スポーツランド河北にチェンソー 1 台、アルミリヤカー 1 台を購入し、体育施設の適正な管理に努めた。</p>
--

5、事業の評価

<p>体育施設の目的である競技スポーツ、生涯スポーツ等がより利用しやすく、また多くの人に親しんでいただける適正な維持管理体制が図られ、効率性が高くなっている。</p>

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	利用者との連携により、協働して管理体制を図っていく必要がある。また、施設の老朽化により、計画的な修繕、工事等を実施していかなければならない。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	31 町民プール事業
-----	------------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系 教育振興 計 画	6 活力ある生涯スポーツの推進 ・生涯スポーツの推進と施設の充実
---------------------	-------------------------------------

予算科 目	款	10	教育費
	項	6	保健体育費
	目	2	体育施設費

2、事業の概要

事業目的	町民の健康の保持増進
事業内容	利用者の安全確保と利用促進

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	5,887	補正額等	915	合計	6,802	決算額	6,763
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

- (1) 河北町民プールの券売機、ろ過装置修繕を実施し、利用者の安全確保と利用促進に努めた。
- (2) 河北町民プールの水質検査を専門機関に依頼し、安全管理と利用促進に努めた。
- (3) 河北町民プールの管理業務を専門業者に委託し、安全管理と利用促進に努めた。
開設期間 平成 23 年 7 月 10 日(日)から 8 月 20 日(土)までの 42 日間(委託期間 47 日間)
使用者数 4,354 人(前年度 4,648 人)
- (4) 河北町民プールの浄化装置保守点検(シーズン前、中、後)を専門業者に委託し、安全な水質管理に努めた。
- (5) 河北町民プールのプールサイド工事を実施し、利用者の安全確保と利用促進に努めた。
- (6) 河北町民プールのろ過装置自動五方弁取替工事を実施し、安全な水質管理と利用促進に努めた。

5、事業の評価

町、専門業者等の連携により、安全管理と利用促進が図られた。また、修繕、工事を実施し、利用者の安全確保に努めた。

6、今後の対応等(委員評価)

方向性	拡充	継続	縮小	見直し	休廃止
今後の対応	河北町民プールは、全体的に老朽化しており、管理及び利用者の安全確保等に不安がある。今後は、現況調査等を実施し、その結果を財政計画に盛り込む必要がある。				

事務事業点検・評価調書

1、事業名等

事業名	32 スポーツ振興事業
-----	-------------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系 教育振興 計画	6 活力ある生涯スポーツの推進
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育協会、スポーツ少年団活動の支援 ・ 生涯スポーツ活動の情報提供

予算科 目	款	10	教育費
	項	6	保健体育費
	目	3	スポーツ振興費

2、事業の概要

事業目的	中学校運動部活動、体育協会加盟種目連盟の競技力向上の推進と各種大会支援
事業内容	各種スポーツ大会出場激励金、垂れ幕掲示 河北町スポーツ選手育成強化事業補助金、河北町生涯スポーツ振興事業補助金の交付

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	4,588	補正額等	228	合計	4,360	決算額	4,320
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1) 各種大会支援	<p>町の支援として世界、アジア、全国スポーツ大会出場選手に激励、健闘を祈るため激励金を支給し、本町のスポーツの振興を図った。また、世界的、全国的規模の競技スポーツ大会において、優れた成果を挙げ、本町のスポーツ振興・発展に寄与した個人または団体名を垂れ幕で役場庁舎前に掲示し、広く町民に周知した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 激励金支給者 小学生 1 人、中学生 36 人、高校生 32 人、成年 1 人 合計 70 人(前年度 64 人) ・ 垂れ幕掲示本数 世界的規模 1 本、全国的規模 15 本 合計 16 本(前年度 16 本)
(2) 中学校運動部活動、体育協会加盟種目連盟の競技力向上の推進	<p>河北中学校のスポーツを振興するため、強化練習会、遠征、選手派遣、研修会、講習会等の選手育成強化事業を行う経費に対して補助金を交付し、河北中学校運動部活動の更なる競技力向上に努めた。</p> <p>日常生活に定着したスポーツ活動を振興するため、強化練習会、大会開催、選手派遣、指導者養成研修会、講習会等の事業を行う経費に対して体育協会に補助金を交付し、生涯スポーツの振興を図った。</p>

5、事業の評価

河北町スポーツ選手育成強化事業補助金、河北町生涯スポーツ振興事業補助金ともに有効活用していただいている。特に河北中学校運動部活動の活躍は目覚しく、今後も競技スポーツ選手の育成と支援は不可欠である。
--

6、今後の対応等（委員評価）

方向性	<p>拡充 継続 縮小 見直し 休廃止</p>
今後の対応	<p>(1) 垂れ幕掲示場所や方法は、競技スポーツだけでなく、町の広報関係全体として検討していく必要がある。例えば電光掲示板等が挙げられる。</p> <p>(2) 河北町スポーツ選手育成強化事業、河北町生涯スポーツ振興事業ともに、各事業の事務手続きが遅延する場合もあり、改善に向けた指導が必要である。</p>

